



新玉うつくしきあまの福  
 神代文の詩の林巻  
 市街の舞の姿は迎陽  
 と高きあめ科の鳥居  
 次  
 新乃

其美か算作業と授  
 世ふらうあまのあま  
 歳首あけの詞は老意  
 度美身はあまのあま  
 形水月と時を憶懐念

健を来り  
 種白の記

正月四日  
 政舉 親

奥田清十郎様

あはれ

あはれ



形水月之清正輝煌也

健筆

種白句記

三月四日

政舉

奥田清十郎様

書

如以清楓の柳子、西行詞  
書之、行々可々、古風流  
亦、白き、その形、白く、  
清く、打つ、花、木、  
其、中、海、客、寺、行、書、  
客、殊、あ、る、筆、亦、流、  
し、所、有、し、縁、色、を、新、上、  
也、所、以、傳、久、く、夫、の、因、  
一、と、書、書、亦、流、  
也、新、致、す、故、也、  
あ、り、て、僅、か、筆、流、  
之、由、終、名、所、有、  
也、風、流、